

科目名	国際コミュニケーション II	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			国際学科	□ 必修 ■ 選択
英文表記	Global Communication II	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年	
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	にしまき じょうじ	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	西巻 丈児	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	第二外国語を通じてより多くの他言語を知ることが、世界の文化の多様性を知ることにつながる。それはまた同時に、自国の文化とその言葉を、客観的に捉えなおす良い機会にもなる。この授業では、ドイツ語に特有な発音・発声を習得し、基礎的な文法を用いて、ドイツ語圏の人たちと簡単なコミュニケーションができるようになるためのテクニックを習得していく。			
到達目標	1) ドイツ語のつづりを正しく発音できる。 2) 日常のやさしいドイツ語の会話文について、辞書を引いて理解できる。 3) ドイツ語圏の人たちと、簡単なコミュニケーションをとることができる。			
授業概要	初めてドイツ語を学ぶ学生を対象に、ドイツ語とはどのような言語なのか、英語とどこに類似し相違するのかを理解しつつ、基本となるドイツ語運用能力を身につけることが講義のねらいです。			
授業計画				
第1回	ドイツ語のアルファベット、つづりと注意すべき発音			
第2回	ドイツ語のあいさつの表現、数詞			
第3回	人称代名詞と動詞の現在人称変化（規則動詞）、語順			
第4回	動詞 sein、haben の現在人称変化（不規則動詞）			
第5回	自己紹介するときの表現			
第6回	名詞の性と冠詞、定冠詞と名詞の格変化			
第7回	不定冠詞と名詞の格変化、名詞の複数形			
第8回	職業・身分をたずねるときの表現			
第9回	動詞の現在人称変化（不規則動詞）、命令形			
第10回	非人称の es、時刻の表現			
第11回	場所をたずねるときの表現			
第12回	定冠詞類、不定冠詞類			
第13回	人称代名詞の3格と4格			
第14回	買い物をするときの表現			
第15回	前置詞の格支配			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	予習：1.5時間程度 ① 授業内容に沿って事前にテキストに目を通す。 ② はじめて見る単語の意味を調べる。 復習：1.5時間程度 ① 授業を振り返って内容を整理する。 ② 理解できていない事柄を次の授業で適確に質問できるよう用意する。			
履修条件 受講のルール	予習・復習を必ずして、積極的に授業に参加すること。			
テキスト	『ブーメラン・エルエー』、小野寿美子、中川明博、西巻丈児、朝日出版社、2015年			
参考文献・資料	授業内で適宜指示する。			

成績評価の方法	3分の2以上の出席を前提に、授業内での問題演習や指名発表時の理解度評価を含む平常点（45%）と、定期試験（55%）を総合して、最終的評価をください。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	火曜日 10:40～12:10 木曜日 10:40～12:10 事前連絡があれば、上記時間の他にも可能性あり。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	外国語の習得には、何度も反復して練習することが必須です。会話をイメージすること、ドイツ語の歌を口ずさむこと、なんでも結構です。授業時以外でも折に触れて声に出して、ドイツ語を身につけていきましょう。